

令和4年度決算の概要をお知らせします

決算の状況

令和4年度の一般会計および特別会計の決算は、歳入歳出差引43億7157万円となり、翌年度へ繰り越すべき財源4億4650万円を控除した実質収支(次ページ1表)は、39億2507万円となりました。

歳入は、市税が164億155万円、最も高く、国庫支出金が126億1923万円、地方交付税が119億262万円と続きます。

歳出は、民生費が173億8356万円、最も高く、総務費が89億2206万円と続きます。

また、全会計の市債残高(次ページ2表)は466億3152万円、前年度に比べ19億8567万円の減、基金残高(次ページ3表)は171億9137万円で、前年度に比べ7億6212万円の増となりました。

一般会計

(歳入)

項目	金額	項目	金額
市税	164億115万円	法人事業税交付金	1億4,820万円
国庫支出金	126億1,923万円	地方特例交付金	1億1,047万円
地方交付税	119億262万円	ゴルフ場利用税交付金	3,256万円
県支出金	51億8,954万円	株式等譲渡所得割交付金	3,127万円
繰越金	33億1,387万円	株等譲渡所得割交付金	2,743万円
市債	29億8,390万円	配当割交付金	2,513万円
地方消費税交付金	23億2,501万円	環境性能割交付金	1,755万円
繰入金	22億1,663万円	国有提供施設等所在市町村助成交付金	1,100万円
諸収入	8億8,493万円	交通安全対策特別交付金	284万円
使用料及び手数料	7億7,105万円	利子割交付金	284万円
地方譲与税	5億8,406万円	合計	606億7,054万円
寄附金	5億6,540万円		
財産収入	3億221万円		
分担金及び負担金	2億449万円		

(歳出)

項目	金額
民生費	173億8,356万円
総務費	89億2,206万円
衛生費	68億6,355万円
土木費	53億7,706万円
公債費	48億5,871万円
教育費	41億1,235万円
商工費	26億3,134万円
消防費	21億403万円
農林水産業費	19億4,945万円
災害復旧費	12億3,913万円
諸支出金	12億3,390万円
議会費	2億8,536万円
労働費	3,502万円
予備費	0万円
合計	569億9,552万円

特別会計

(歳入)

項目	金額
介護保険事業	113億7,066万円
国民健康保険事業	110億1,242万円
後期高齢者医療事業	14億2,258万円
国民健康保険直営診療施設勘定	8億9,744万円
天辰第二地区土地区画整理事業	7億7,312万円
天辰第一地区土地区画整理事業	2億7,412万円
入来温泉場地区土地区画整理事業	1億5,417万円
温泉給湯事業	4,678万円
浄化槽事業	1,113万円
合計	259億6,242万円

(歳出)

項目	金額
国民健康保険事業	109億3,985万円
介護保険事業	108億3,167万円
後期高齢者医療事業	14億2,063万円
国民健康保険直営診療施設勘定	8億9,582万円
天辰第二地区土地区画整理事業	7億2,639万円
天辰第一地区土地区画整理事業	2億6,275万円
入来温泉場地区土地区画整理事業	1億3,377万円
温泉給湯事業	4,383万円
浄化槽事業	1,113万円
合計	252億6,586万円

※計などについては、端数処理の関係で一致しない場合があります。

公営企業会計

公営企業会計区分		予算額		執行額		執行率
		収入	支出	収入	支出	
水道事業	収益的収支	18億8,973万円	17億1,398万円	19億4,975万円	16億4,094万円	103.2%
	資本的収支	2億8,520万円	11億4,012万円	2億4,362万円	10億7,033万円	85.4%
簡易水道事業	収益的収支	3億931万円	2億9,636万円	3億1,154万円	2億7,451万円	93.9%
	資本的収支	1億2,830万円	2億804万円	1億2,741万円	1億8,305万円	92.6%
下水道事業	収益的収支	8億7,700万円	8億5,213万円	8億8,247万円	7億9,953万円	100.6%
	資本的収支	14億7,634万円	17億3,120万円	9億656万円	10億8,665万円	61.4%

問合せ先
本庁財政課財政G
(内線4722)

市債(市の借入金)の現在高

2表

会計	項目	金額
一般会計	臨時財政対策債	153億1,264万円
	土木債	62億2,791万円
	教育債	39億2,898万円
	総務債	31億1,407万円
	消防債	15億2,150万円
	衛生債	13億644万円
	農林水産業債	11億6,776万円
	災害復旧債	8億7,891万円
	公営企業出資債	1億2,560万円
	減収補填債	1億2,540万円
特別会計	商工債	7,326万円
	減税補填債	7,297万円
特別会計	一般会計(合計)	338億5,544万円
	天辰第二地区土地区画整理事業	7億7,452万円
特別会計	天辰第一地区土地区画整理事業	4億8,441万円
	入来温泉場地区土地区画整理事業	3億1,959万円
特別会計	国民健康保険直営診療施設勘定	1億443万円
	浄化槽事業	1,850万円
特別会計	特別会計(合計)	17億145万円
	下水道事業	57億6,380万円
公営企業会計	水道事業	45億7,200万円
	簡易水道事業	7億3,883万円
公営企業会計	公営企業会計(合計)	110億7,463万円

令和4年度に実施した主な投資的事業

- 橋梁維持補修事業
- 天辰第二地区土地区画整理事業
- 道路長寿命化事業
- 横馬場田崎線整備事業
- 総合運動公園施設改修事業

令和4年度実質収支

1表

	一般会計	特別会計	計
歳入①	606億7,054万円	259億6,242万円	866億3,296万円
歳出②	569億9,552万円	252億6,586万円	822億6,138万円
差引(①-②)	36億7,502万円	6億9,656万円	43億7,157万円
翌年度へ繰り越すべき財源③	3億7,002万円	7,648万円	4億4,650万円
実質収支(①-②-③)	33億500万円	6億2,007万円	39億2,507万円

※計などについては、端数処理の関係で一致しない場合があります。

市有財産現在高(令和4年度末)

3表

区分	令和4年度末現在高	令和3年度末との比較増減
山林	8,010万7,174.52㎡	1万4,846.00㎡減
山林以外の土地	1,580万8,928.73㎡	5,840.58㎡減
建物	63万2,563.56㎡	4,683.24㎡減
有価証券	4,628万円	—
出資による権利	2億7,471万円	—
債権	6億2,419万円	1,559万円増
基金	171億9,137万円	7億6,212万円増

用語解説

- 翌年度へ繰り越すべき財源：令和4年度に事業を完了できず、令和5年度へ実施を繰り越した事業の財源
- 実質収支：歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた額で、地方公共団体の財政運営の良否を判断する重要なポイントとなります。
- 一般会計：予算の中心となる基本的・一般的な会計で、他の会計に属さないものは、全てこの会計で処理されます。
- 特別会計：特定の事業を行う場合や特定の歳入をもつて特定の歳出に充て、一般会計の歳入歳出と区別して経理する会計のこと
- 民生費：児童・高齢者・障害者の福祉などの経費
- 総務費：庁舎などの維持管理、税金の徴収、戸籍管理、選挙などの経費
- 衛生費：保健衛生や環境対策、ごみ処理対策などの経費
- 公債費：これまでの施設整備などで借りたお金の返済のための経費
- 商工費：商工業や観光振興などの経費
- 労働費：労働者福祉などの経費
- 国庫支出金：特定の事業に対して、国から交付されるお金
- 繰入金：基金の取り崩しや他会計から入れるお金
- 繰越金：前年度から繰り越されたお金の分担金及び負担金：土地改良や保育園の保育料など、事業実施に伴う受益者からもらうお金